



## 2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月11日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員兼COO (氏名) 石井 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	14,814	2.1	3,480	15.9	3,518	15.3	2,433	14.8
2025年12月期第1四半期	14,504	5.4	3,002	5.5	3,050	5.2	2,118	5.6

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 3,093百万円 (98.4%) 2025年12月期第1四半期 1,559百万円 (45.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	102.21	
2025年12月期第1四半期	89.07	

(注) 当社は、2026年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	50,435	30,039	59.6
2025年12月期	48,385	27,941	57.7

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 30,039百万円 2025年12月期 27,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期		60.00		60.00	120.00
2026年12月期					
2026年12月期(予想)		37.50		37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期年間配当金の内訳 普通配当100円 記念配当20円(創業80周年記念配当)

(注) 当社は、2026年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2026年12月期(予想)の年間配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年12月期(予想)の年間配当金は150円となります。

### 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	6.8	6,300	2.9	6,500	2.9	4,500	2.6	189.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	25,860,000 株	2025年12月期	25,860,000 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	2,132,882 株	2025年12月期	2,030,516 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	23,804,240 株	2025年12月期1Q	23,786,094 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、従業員持株会信託型ESOPの信託口が保有する当社株式を含めております。

(注) 当社は、2026年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料等の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日から2026年3月31日まで)におけるわが国経済は緩やかな回復基調が続き、企業の設備投資も緩やかな増加傾向にある一方で、中東情勢や各国の通商政策による影響などにより、景気の先行きは不透明感が増している状況にあります。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では水インフラ設備の更新・整備需要や雨水排水施設などの防災・減災需要が堅調に推移し、民間分野では設備投資が安定的に推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「EJ2027」において以下を基本方針とし、特に「防災・減災」、「蓄電池」、「水産」の3つを注力領域として、企業価値の向上を目指しております。

- ・ 既存事業の強化
- ・ 新領域の探索
- ・ 経営基盤の充実

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は114億58百万円(前年同期比40.5%増)、売上高は148億14百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は34億80百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益は35億18百万円(前年同期比15.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億33百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

#### メーカー事業

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントにおいては、受注高は水処理プラント分野において陸上養殖設備に関する大型案件を受注したことに加え、医療分野においても官公庁向け衛生器材が伸長したことにより、セグメント全体では前年同期比281.9%増の44億82百万円となりました。一方、売上高は脱臭分野が増加したものの、水処理プラント分野と医療分野が減少したことにより、前年同期比1.4%減の22億44百万円となりました。セグメント利益は前年同期比6.6%減の5億44百万円となりました。

#### エンジニアリング事業

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントにおいては、公共水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要が堅調に推移したものの、受注高は前年同期比4.1%減の37億57百万円となりました。売上高は高水準の受注残高を背景に計画どおりに売上を計上しましたが、前年同期に比しては6.1%減の85億73百万円となりました。一方、売上総利益率が上昇したことから、セグメント利益は前年同期比11.5%増の24億7百万円となりました。

#### 商社事業

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントにおいては、民間分野の設備投資が安定的に推移し、受注高は前年同期比5.2%増の32億18百万円となりました。売上高は堅調な国内設備投資需要を背景に、前年同期比29.1%増の39億97百万円となりました。セグメント利益は前年同期比47.2%増の8億62百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
メーカー事業	4,482	381.9	6,993	192.1
エンジニアリング事業	3,757	95.9	20,268	112.8
商社事業	3,218	105.2	5,517	95.2
合計	11,458	140.5	32,779	119.6

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は504億35百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億50百万円の増加となりました。当社グループの売上高は、例年、地方自治体の年度末にあたる3月に集中する傾向があり、受取手形、売掛金及び契約資産が29億円増加したこと、保有株式の時価上昇に伴い投資有価証券が9億65百万円増加したこと、一方で、現金及び預金が12億87百万円減少したこと等が主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は203億96百万円となり、前連結会計年度末と比べ47百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金が1億5百万円減少したこと、契約負債が2億25百万円減少したこと等が主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は300億39百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億98百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により24億33百万円増加したこと、保有株式の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が6億61百万円増加したこと、一方で、剰余金の配当により7億21百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月9日付「2025年12月期決算短信」において公表いたしました2026年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,170	13,883
受取手形、売掛金及び契約資産	17,067	19,967
商品及び製品	1,286	857
仕掛品	387	385
未成工事支出金	207	49
原材料及び貯蔵品	571	524
その他	534	615
貸倒引当金	△56	△1
流動資産合計	35,168	36,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,830	3,838
減価償却累計額	△2,322	△2,348
建物及び構築物(純額)	1,508	1,490
機械装置及び運搬具	117	110
減価償却累計額	△87	△85
機械装置及び運搬具(純額)	29	25
工具、器具及び備品	851	854
減価償却累計額	△675	△695
工具、器具及び備品(純額)	175	158
土地	1,526	1,526
建設仮勘定	7	-
その他	38	38
減価償却累計額	△17	△18
その他(純額)	21	19
有形固定資産合計	3,269	3,220
無形固定資産	101	106
投資その他の資産		
投資有価証券	8,384	9,349
保険積立金	540	547
投資不動産(純額)	623	653
繰延税金資産	28	43
その他	373	335
貸倒引当金	△103	△102
投資その他の資産合計	9,846	10,826
固定資産合計	13,216	14,152
資産合計	48,385	50,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,491	11,386
短期借入金	1,010	1,010
1年内返済予定の長期借入金	85	85
未払法人税等	1,237	1,247
未払消費税等	397	581
契約負債	1,834	1,609
賞与引当金	-	430
工事損失引当金	44	44
その他	1,282	768
流動負債合計	17,383	17,164
固定負債		
長期借入金	428	428
繰延税金負債	2,237	2,450
役員退職慰労引当金	146	146
退職給付に係る負債	94	77
その他	153	129
固定負債合計	3,059	3,232
負債合計	20,443	20,396
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	1,179	1,179
利益剰余金	22,998	24,709
自己株式	△2,457	△2,730
株主資本合計	22,722	24,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,203	5,864
退職給付に係る調整累計額	15	14
その他の包括利益累計額合計	5,219	5,879
純資産合計	27,941	30,039
負債純資産合計	48,385	50,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	14,504	14,814
売上原価	9,650	9,395
売上総利益	4,854	5,419
販売費及び一般管理費	1,852	1,939
営業利益	3,002	3,480
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	36	34
投資不動産賃貸料	26	29
その他	3	14
営業外収益合計	67	80
営業外費用		
支払利息	2	3
不動産賃貸費用	10	28
為替差損	1	1
その他	3	9
営業外費用合計	18	42
経常利益	3,050	3,518
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産処分損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	3,052	3,515
法人税、住民税及び事業税	1,062	1,188
法人税等調整額	△128	△106
法人税等合計	933	1,082
四半期純利益	2,118	2,433
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,118	2,433

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	2,118	2,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△558	661
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△558	660
四半期包括利益	1,559	3,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,559	3,093
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	メーカー事業	エンジニア リング事業	商社事業			
売上高						
官公庁	1,403	8,784	307	10,494	-	10,494
民間	873	347	2,789	4,010	-	4,010
顧客との契約から生じる収益	2,276	9,131	3,096	14,504	-	14,504
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,276	9,131	3,096	14,504	-	14,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,276	9,131	3,096	14,504	-	14,504
セグメント利益	582	2,159	585	3,327	△325	3,002

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	メーカー事業	エンジニア リング事業	商社事業			
売上高						
官公庁	1,392	8,498	541	10,432	-	10,432
民間	851	75	3,456	4,382	-	4,382
顧客との契約から生じる収益	2,244	8,573	3,997	14,814	-	14,814
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,244	8,573	3,997	14,814	-	14,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,244	8,573	3,997	14,814	-	14,814
セグメント利益	544	2,407	862	3,814	△334	3,480

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	57百万円	60百万円